

【座談会 今夜、広島 YEG 平成 27 年度卒業生に聞きました！】

「私はこうやって広島 YEG を楽しみました。」

参加者 川村安成 先輩、田戸 亨 先輩、原田一彦 先輩

司会 小川智久、島村知恵

1 入会の経緯

(司会) 新入会員の皆様も様々な経緯で入られた方がいらっしゃると思いますが、先輩側は、
どういう経緯で広島 YEG に入られたのですか？

(川村先輩)

広島 YEG 立ち上げ時 5 人メンバーの一人が従兄で社長である奥田耕一氏で、その従兄からの紹介で入りました。会員を増やすこともあったと思いますが、勉強してこいと肩を叩いてくださったと思います。

(原田先輩)

平成 22 年、前の事務所で同僚であった人と一緒に独立して今の事務所を立ち上げました。そこで、これからは、様々な業界の方と知り合いになり、その方からいろいろなことを吸収したく、広島の経済団体を調べたところ、広島商工会議所（名前だけは知っていましたが）が良いかなと思い、親会に入会しました。

そして、親会の事務局の方から青年部のことを教えて頂き、入会した次第です。
ということで、特に紹介者はいません。

(司会)

紹介者が全くいない中で、例会とか委員会に行くのはどういう気分でしたか？

(原田先輩)

そうですね。初めは、よく理解していなかったこともあり、例会などの出席率は低かったです。それでも、委員会を通じて、懇親会などに夜遅くまでお誘いを頂いたのですが、本業が気になって、断ることも多かったです。

今となっては、本当に後悔しています。

(司会)

では田戸先輩は、どうですか？

(田戸先輩)

高校の同窓である大内先輩（関西タクシー）にマダムローランで会った時、「YEGに入れや〜。楽しいで〜」と言われ、うちの社長に言ったら、「そりゃーえー話じゃ。やってみーや。」と言われたから。です。

(司会)

いや、楽しいで〜と言われても、お金や時間がかかって大変だという意見もあると思うのですが。

(田戸先輩)

確かに付き合い方によってはお金がかかりますね。入会してすぐのことですが、3次会までお付き合いした時の領収書を会社に提出したら、社長から呼び出されて、「お前らボンボンが寄ってたかってクラブなんぞで飲みやがって！」と怒られました。それ以来二次会からは自腹でやってました。ですから家計には負担を掛けていたと思います。妻に感謝しなきゃいけないですね。

2 YEG 活動に参加しやすくする工夫は？

(司会)

社長、今日も YEG とか言って早めに出て行きましたけど、いつもただ飲んでるだけなんじゃないですかね〜とか、こういった社内批判等はよく耳にすることがあると思うんですが、これをうまくかわすというか、YEG に参加しやすくするために工夫されたことはありますか？

(田戸先輩)

内心あったのかもしれませんが。。。

参加する工夫といいますか、自分の中でのルールとして仕事は絶対に手を抜かない、ということを決めていました。

ですから時には睡眠時間を削って活動することもありました。

社長や社員はそうやってがんばる姿を暖かく見守ってくれていたのではないかと思います。

(司会)

原田先輩はどうでしたか

(原田先輩)

事務所の人が何名か入会していたので、参加自体に批判はありませんでしたが、本業に差し支えない範囲で活動してました。もちろん、お金も時間もかかったので、社内的というよりも、家庭内の理解を得ることのほうが。僕も妻に感謝です。

(司会)

それでは、川村先輩はどうですか

(川村先輩)

YEG 活動に批判はありましたが、YEG 関係からの受注があり（15年で〇億超えたと
思います。）文句は言わせないという思っていました。

3 YEG がたのしくなったきっかけは？

(司会)

それでは次に、YEG が好きになった、YEG の中で新しく仲間が出来たり、仲良くなり
だしたきっかけは、何ですか？

(川村先輩)

私は、初年度は、全く打ち解けられなかったもので、2年目からは最初の委員会からとにかく
出席して仲良くできる人を作りました。

そして、グループで委員会を一緒に移動するとなると交流の幅を狭くすると思ったので
それ以降は常に委員長と事業内容をみて友人と一緒にではなく自分一人で決めていました。
どちらがよかったのかはわかりませんが、コアな深いお付き合いではなく、広く浅く繋がり
ができたと思います。

そして、私が委員長をしたときに副会長にかわいがっていただき、商売にも繋がったりし
たわけです。

(司会)

それでは、田戸先輩はどうですか？

(田戸先輩)

私は、入会したてのころは仕事の予定を調整してまで参加していませんでした。
ですからあまり友達もできませんでしたし、仲の良い人もいませんでした。

しかしある時、ふらっと参加した委員会で副委員長から担当例会での役割を与えられました。それは大変重要な役割だったのでとても驚きました。

なぜその方が私を指名したのか分かりませんでした。

せっかくなのでご指名いただいたのだからと自分なりに一生懸命取り組みました。

一生懸命取り組むと、メンバーの方とのコミュニケーションも多くなり、自然と委員会活動が楽しくなっていました。

こうして振り返ってみますと、楽しくなくても苦しくても、時間の無駄だと思っても、とにかく参加することが大事だと思います。

そして自分なりに関わってみることが大事だと思います。

それにより、そこからいろいろなドラマが生まれると思います。

新入会員のみなさんにはそこを強く言いたいです。

(司会)

それでは、原田先輩はどうですか？

(原田先輩)

私は、先のとおり、紹介者を通さず、YEG のこともよく知らないまま入会したので、当初は、ほとんど参加しませんでした。それが、2012年の「広島 YEG メッセ 2012」をきっかけに劇的に変わりました。

その企画の中に「行列の出来る YEG ビジネス法律相談所」というコーナーがあり、そのパネラーとして呼んで頂きました。パネラーとして参加する以上、準備等で担当委員会の方と自然に交流が深まり、初めて、YEG に加わったと実感できたのではないかと思います。

(司会)

つながりができてくると楽しくなりますよね

4 印象に残った事業は？

(司会)

YEG と言っても、これまで沢山の事業を行ってきましたが、これまでに印象に残った事業は何ですか。まずは、川村先輩はどうですか？

(川村先輩)

私が、最初に幹事をさせていただいた年、コーチングという手法が話題でワークショップ方式の例会を初めて試みました。皆さんから好評いただきました。余談ですが、この時

の担当副会長に大変可愛がっていただきスーパーゼネコンを押しつけ大規模工事を受注できたのが前述の売り上げの大半を占めます。

あとは、2013年度の卒業式ですね。

こんな卒業式は2度とできないだろうと思いました。

ただ、2015年度の自分たちの時にそれに勝るとも劣らない卒業式をしていただいたことには、本当に驚きました。

(司会)

それでは、田戸先輩はどうですか？

(田戸先輩)

私は、「音楽のちから」です。

練習に入ってから拘束される時間が多く大変でした。YEGの事業としては全員ののべ時間を積算すると大変な時間になるのではないかと思います。

その苦しみが印象に残っていますが、感動もひとしおでした。

それともう一つ音楽のちからで印象に残ったことがあります。

私はホルンのパートを担当していたのですが、パート責任者が、仕事が忙しいことを理由に欠席したら、大学生に「忙しいのはみんな同じじゃないですか。」と厳しい意見を言われたことです。大学生からも学びをいただきました。

(司会)

それでは、原田先輩はどうですか？

(原田先輩)

私は、私がラストイヤー特別委員長であったということもあり、卒業式です。当日まで、自分達卒業生のために、多くの方に尽力していただいたことは理解していたつもりでしたが、当日の完成を目の当たりにして、このような素晴らしい卒業式を自分達のために1年間準備をして頂いたと思うと感激でした。

また、これも手前味噌となりますが、担当委員会でもあった、平成26年度の危機管理研究委員会です。

当初は、自然に対する危機感も乏しかったこともあり、事業の内容も一般的・抽象的な感もありました。しかし、例会の直前に、広島平成26年土砂災害が起こり、危機感が一気に押し掛けてきました。災害に直面した知り合いもいて、これまでの自分の危機感の無さを反省するとともに、被災者に向けて何かできないか、色々と考えさせられた事業でした。

5 YEGの中で聞いたり経験したエピソードで一番感動したエピソードについて

(司会)

YEGの中で聞いたり経験したエピソードで一番感動したエピソードは何ですか？
まずは、川村先輩からお願いします。

(川村先輩)

100対100の合コンという事業です。

私が、少子高齢化委員会という委員会にいたとき、100対100で合コンをしました。そしてそれをきっかけにご結婚されたカップルがいたらしい。(個人情報なのでフィードバックは一切ありませんでしたが、風のうわさで聞きました。)自分たちが一生懸命にやり、それが人のためになったことを実感しました。

(司会)

それでは、原田先輩はどうですか？

(原田先輩)

私は、自分の担当事業をやり遂げたときに感動しました。どの事業も、目的に向かって一致団結し、各自の役割を遂行し、結果、無事終わったときに達成感を多いに感じる事ができるのです。もちろん、その後は打ち上げで多いに騒いだものです。これは、参加しなければ感じる事ができないことでした。

(司会)

それでは、田戸先輩はどうですか？

(田戸先輩)

「いつかの卒業式のハンドベル」です。確か当時新田さんが委員長をされていたと思うのですが、その卒業式は設営されたメンバーの卒業生への思いをとて感じる事のできるすばらしい卒業式でした。いろいろな演出がありましたが、特に印象に残っているのが、ハンドベルの演奏です。その音色がとても美しく、素敵で癒されました。それとそのハーモニーが本当に素晴らしく、卒業生の方々がすごく練習されたんだろうなー、と思いました。そんな事を思いながら、演奏を聞かせてもらったことを思い出します。

6 ずばり YEG の魅力は何ですか？

(司会)

では、最後の質問です。川村先輩にとって、ずばり YEG の魅力は何ですか？

(川村先輩)

本当にたくさんの人と出会い、自分を高めながら商売の実益もある。困ったときにはありとあらゆる職種の方がブレーンになってくれましたし、多少はメンバーのお役にもたてたと思います。そういった経験ができたことです。

(司会)

では、田戸先輩にとって YEG の魅力は何ですか？

(田戸先輩)

私は、事業を通じて沢山の勉強の機会を得ることができることだと思います。

また、多くのメンバーと仲良くなることにより、それぞれの仕事に対する真摯な姿にも学びを得ることができます。他では得られない多くの研鑽を積むことができることだと思います。

次に、かけがえのない友達を得ることができることも YEG の魅力だと思います。

私は一生お付き合いしたい、と思える沢山の方とご縁をいただきました。

本当に幸せなことだと思います

(司会)

では、原田先輩にとって YEG の魅力は何ですか？

(原田先輩)

私は、「いろいろな業種の方との出会い」です。本業だけでは、いろいろな業種の方と知り合うのも大変ですが、YEG に参加することで、その点は一気に解決します。そして、その関係は卒業後も変わりなく続いています。今回、卒業後でもこのように声をかけていただきました。中には、数年前の委員会メンバーからの召集で集まったりする事もあります。在籍中も卒業後も、変わりなく続く人と人との繋がりが、最高の魅力だと思います。

以上